

2024年3月期 第2四半期決算説明資料 トレーダーズホールディングス株式会社

証券コード：8704
2023年11月13日



JPX-NIKKEI Mid Small



金融を、もっと面白く。

金融を、もっと面白く。

Traders

2023年8月31日よりJPX日経中小型株指数に組み入れられました



JPX-NIKKEI Mid Small

預り資産の伸びは絶好調 期初計画を上回り 今期の目標の1000億円台は**達成間近**



- 01 2024年3月期 第2四半期業績ハイライト**
- 02 2024年3月期決算 業績予想**
- 03 業績予想達成に向けた2024年3月期の施策進捗**
- 04 資本政策**
- 05 Appendix**

金融を、もっと面白く。

Traders

2024年3月期 第2四半期 業績ハイライト

2024年3月期第2四半期 エグゼクティブサマリー

金融を、もっと面白く。



効果的なマーケティング施策の遂行により預り資産の増加が加速
2Q累計の営業収益、営業利益は過去最高だった前年同期を上回る

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月 第2四半期	前年同期比
営業収益	4,419 百万円	4,614 百万円	+4.4%
営業利益	1,785 百万円	1,863 百万円	+4.4%

2024年3月期 上期トピックス

金融を、もっと面白く。



営業収益

46.1 億円

前年同期比

+ 1.9 億円

- ✓ ボラティリティが前期に比べ低下傾向の非常に厳しい為替相場環境の中、預り資産が順調に積みあがったことにより、上期ベースで過去最高だった前年同期を上回る営業収益を確保 P.27で後述するキャンペーン関連で約1億円を営業収益から控除して計上

取引関係費

9.1 億円

前年同期比

▲ 2.2 億円

- ✓ 大手検索サイトにおけるFX関連Web検索で「みんなのFX」「LIGHT FX」ともに上位掲載率を上昇させ、申込者数増加
- ✓ TVCM費用を計上したものの、主に前期4Qに行ったLIGHT FXの広告代理店変更の要因で広告費削減

営業利益率

40.4 %

前年同期比

▲ 0.02 %

- ✓ ①システム完全内製化 ②店頭デリバティブに特化 ③固定費が中心 ④徹底したコスト管理といった当社の長所を伸長させ、引き続き高い営業利益率を維持
- ✓ 上記取引関係費に記載の広告代理店変更により広告宣伝費削減

預り資産残高

985 億円 (2023年10月末時点)

前期末比

+ 182 億円

- ✓ 各種キャンペーンや新商品「LIGHTペア」、新規通貨ペア「ハンガリーフォリント/円」のスワップ訴求、インフルエンサー施策、離脱防止施策等の施策が奏功し、新規・純増ともに目標を大きく上回り半期ベースで過去最高の預り資産の伸びを記録

四半期連結業績

金融を、もっと面白く。



前年同期比で営業収益は12.2%減少

営業利益、経常利益は前年同期比で約60%減少、四半期純利益に関しても64.3%減少

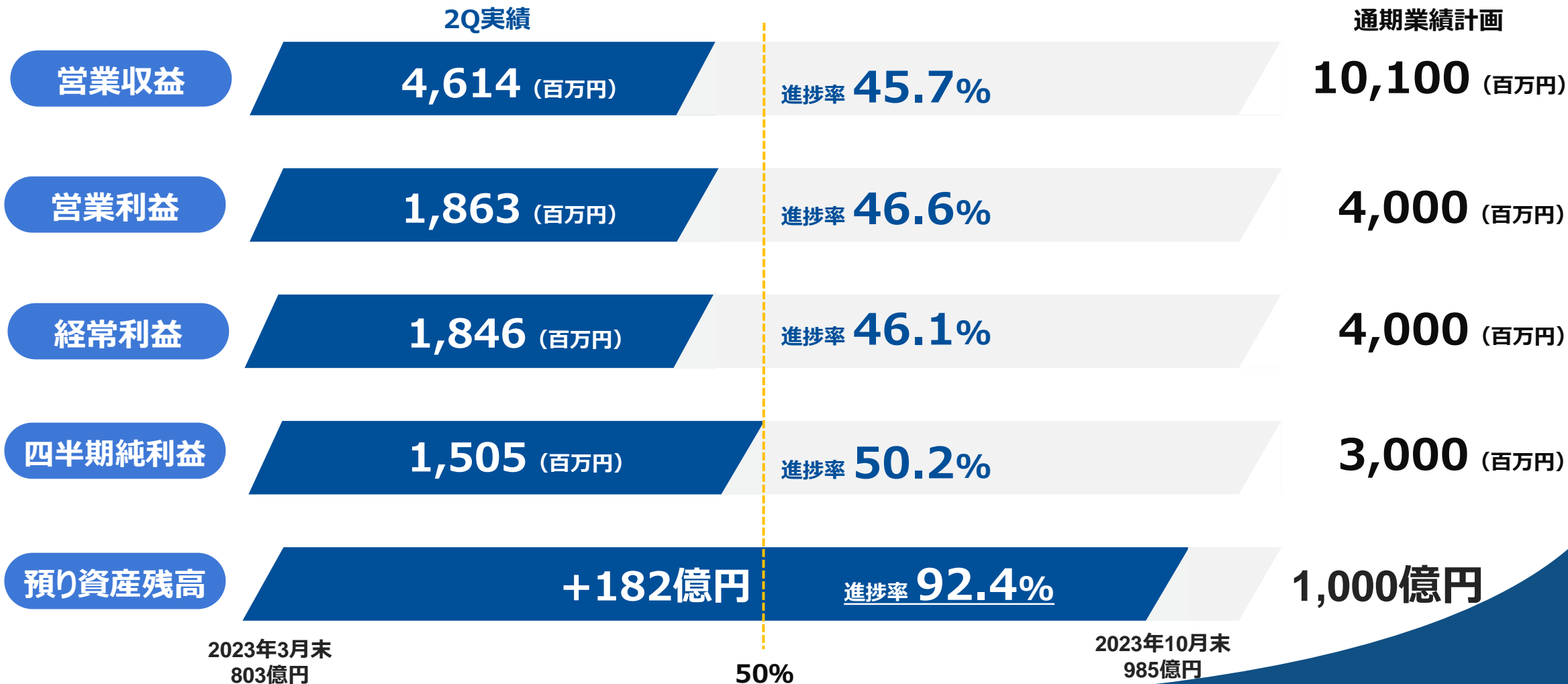
(単位：百万円)	2023年3月期				2024年3月期		前年同期比
	1Q (2022年4-6月)	2Q (2022年7-9月)	3Q (2022年10-12月)	4Q (2023年1-3月)	1Q (2023年4-6月)	2Q (2023年7-9月)	
営業収益	2,397	2,021	2,317	2,458	2,840	1,773	▲12.2%
営業利益 (利益率)	1,108 (46.2%)	676 (33.5%)	952 (41.1%)	1,004 (40.9%)	1,593 (56.1%)	269 (15.2%)	▲60.2%
経常利益 (利益率)	1,102 (46.0%)	670 (33.2%)	957 (41.3%)	1,000 (40.7%)	1,582 (55.7%)	263 (14.9%)	▲60.7%
四半期純利益 (利益率)	951 (39.7%)	540 (26.7%)	727 (31.4%)	998 (40.6%)	1,312 (46.2%)	193 (10.9%)	▲64.3%

四半期連結業績進捗率

金融を、もっと面白く。



営業収益、営業利益および経常利益の金額は通期業績計画の50%に若干の未達ではあるが、
預り資産は期初計画を大きく上回る伸びを見せており目標達成目前 **収益を生み出す土台作りは好調**



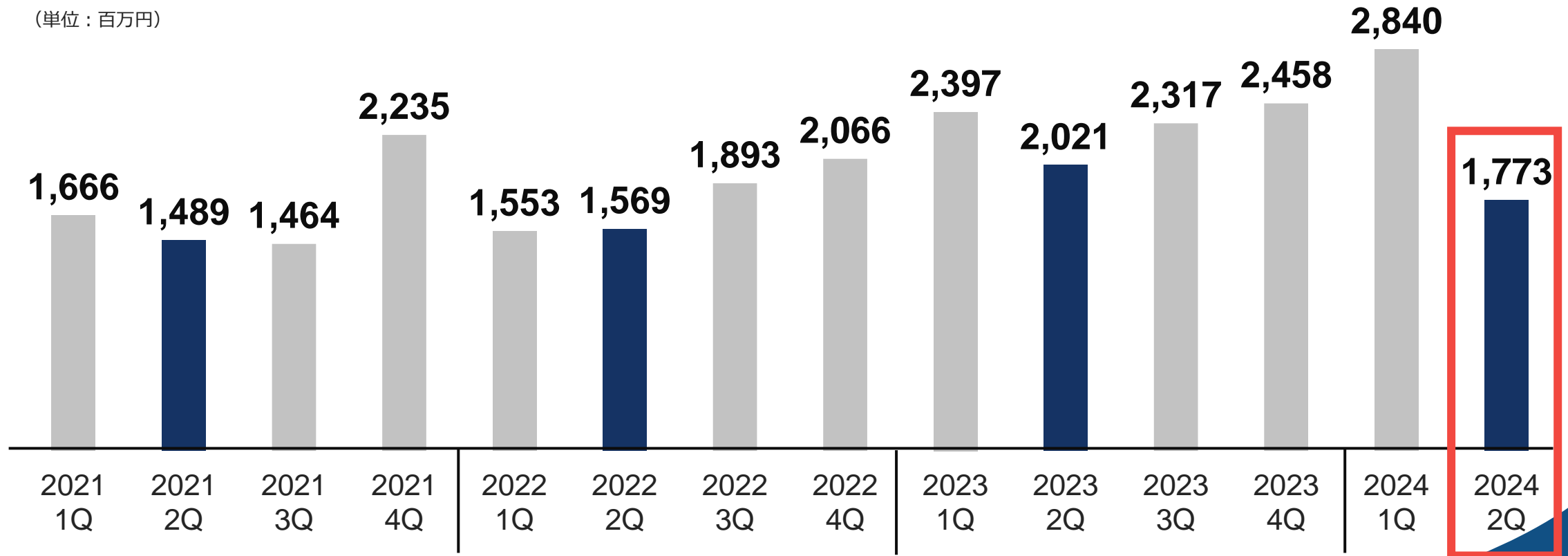
四半期業績推移（営業収益）

金融を、もっと面白く。



営業収益は当第1四半期に四半期ベースで過去最高を記録したものの、当第2四半期はボラティリティ低下により減速
収益の土台となる預り資産は順調に伸長して顧客基盤は拡大しており、高ボラティリティ時に営業収益を獲得する準備は整っている
今後も預り資産の積み上げにより、増収増益を図る

(単位：百万円)



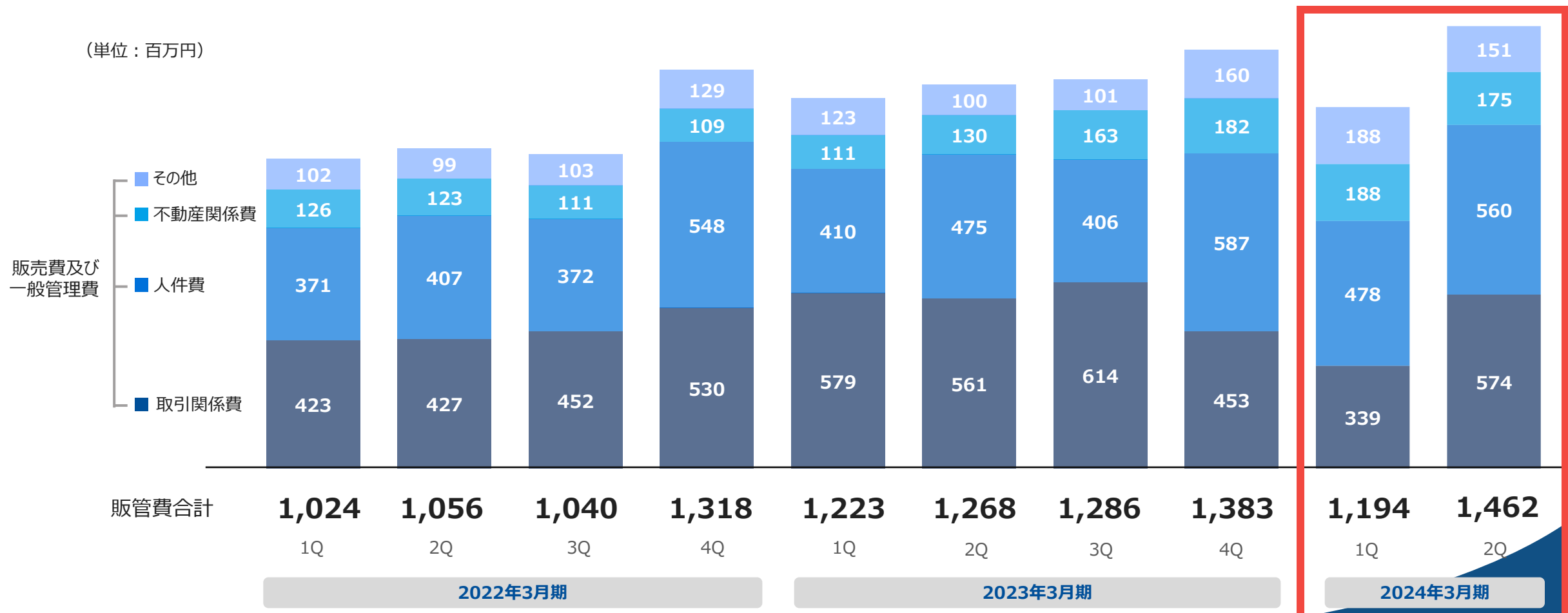
販管費の四半期推移

金融を、もっと面白く。



取引関係費は対前四半期比で7月1日に開始されたCM関連の費用（広告宣伝費）により増加
 P.27で後述するキャンペーン関連の費用約1億円は広告宣伝費ではなく営業収益から控除して計上
 人件費は対前四半期比で役員賞与の支給、ストックオプション・譲渡制限付株式報酬の付与等により増加

(単位：百万円)



四半期ごとの預り資産推移

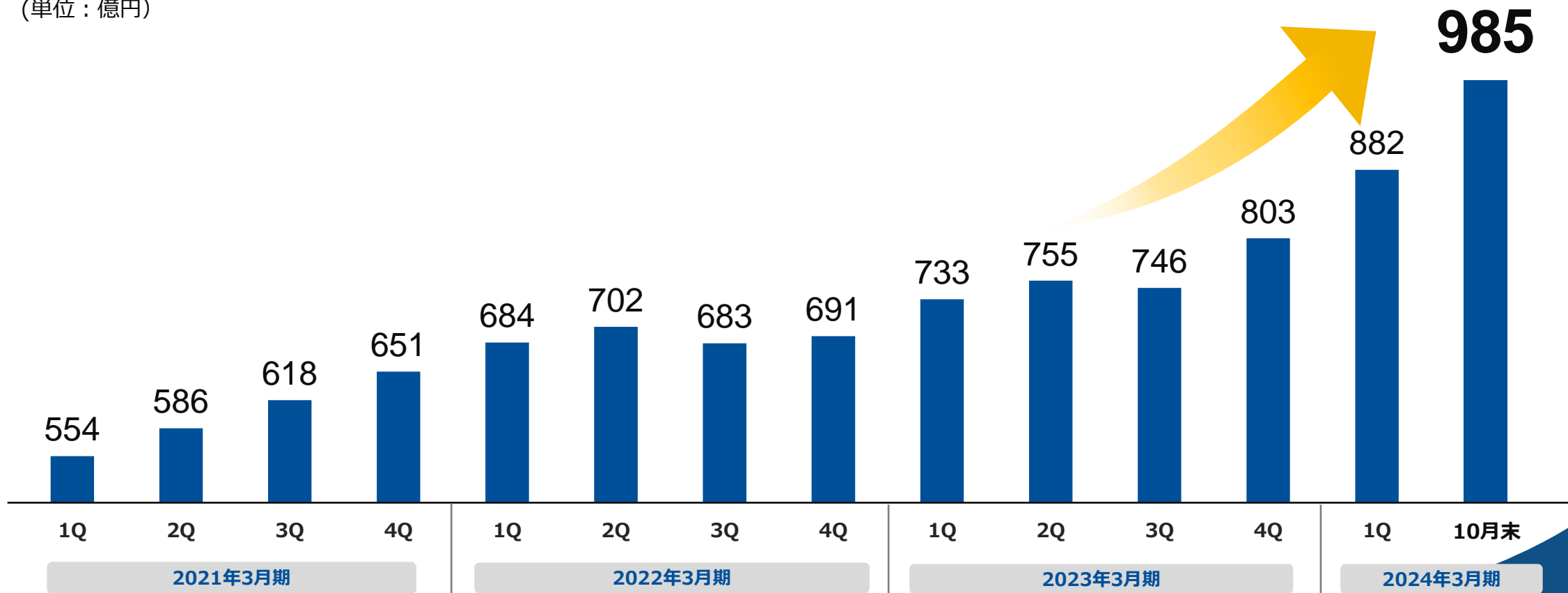
金融を、もっと面白く。



預り資産は順調に増加し、10月末時点で前期末比 **182億円増加の 985億円に到達**

円キャリー取引が活況な市場環境を背景に、スワップ・スプレッドを強化した「LIGHTペア」を開始 顧客ニーズを捉えた戦略的マーケティング施策により新規顧客は増加 顧客基盤が拡大しボラティリティ上昇時における収益獲得の準備は順調

(単位：億円)



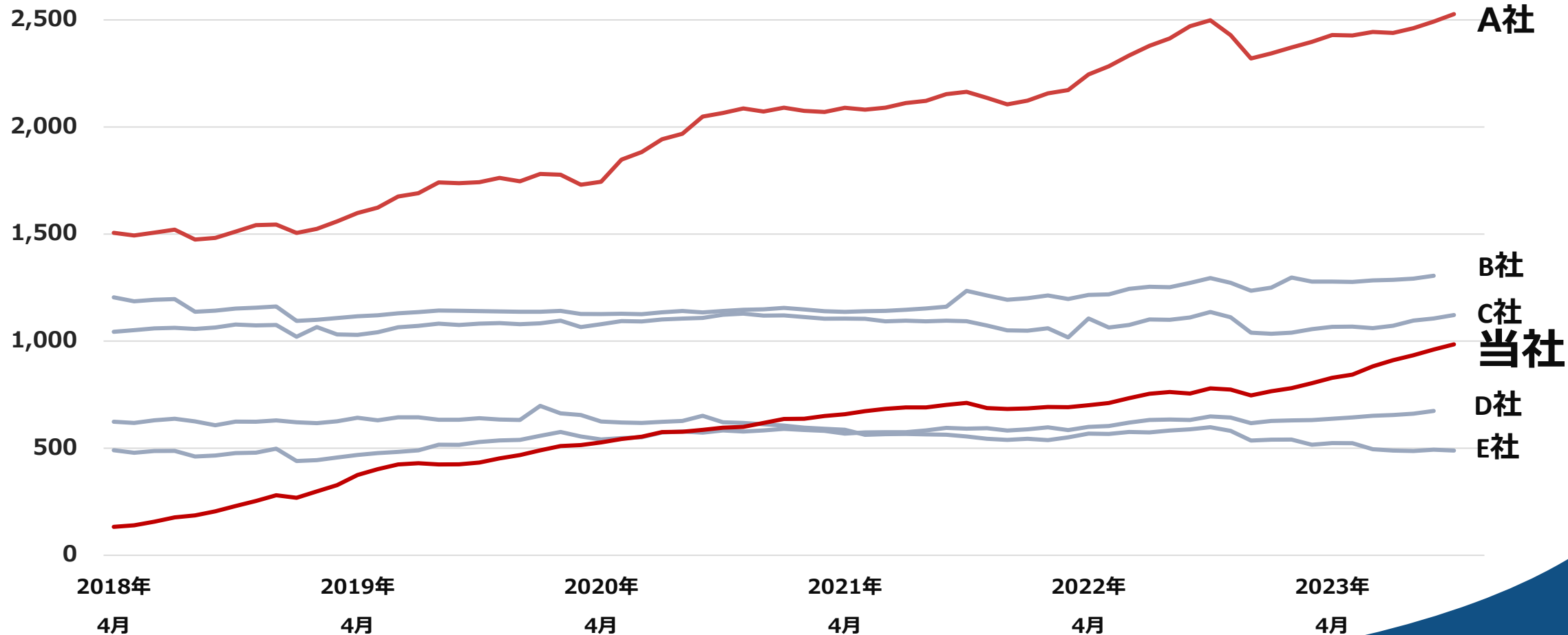
預り資産の推移（同業他社比較）

金融を、もっと面白く。



- ✓ 預り資産の増加は当期に入り加速、年度末目標の1,000億円台への到達はほぼ確実
- ✓ システム内製化が完了した2018年3月期末を起点とする預り資産の増加率では当社が最も高い（増加率約780%）
- ✓ 実現損失が発生し各社減少した2022年12月以降の増加額は業界トップ（約300億円増加）

(単位：億円)



2024年3月期第2四半期 市況概況①

金融を、もっと面白く。



USDJPY (日足チャート)



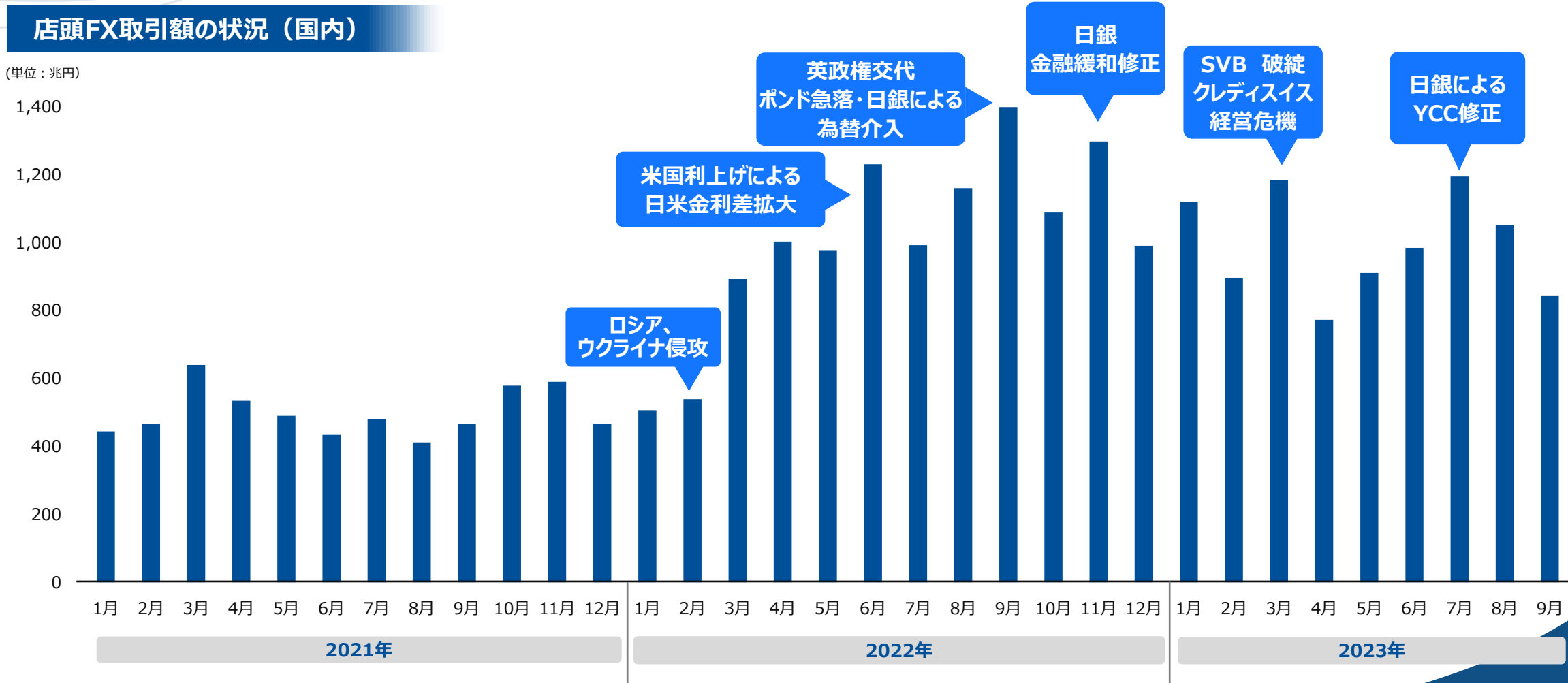
市況概況

第1四半期では、日銀の量的緩和継続と米国FRB議長による利上げへの言及等の影響により、3か月でドル円相場は130円台から145円へ上昇し、前年同期と同様に大きく変動。

第2四半期では日銀によるYCC撤廃の観測により一時大きく円高に振れたタイミングがあったものの、正式に決定された7月下旬以降は再び円安に動き出し、9月には150円まで上昇

2024年3月期第2四半期 市況概況②

引き続き市場環境は活況が続き店頭FX取引額は高水準をキープ



出典：一般 社団法人金融先物取引業協会

2024年3月期第2四半期 市況概況③

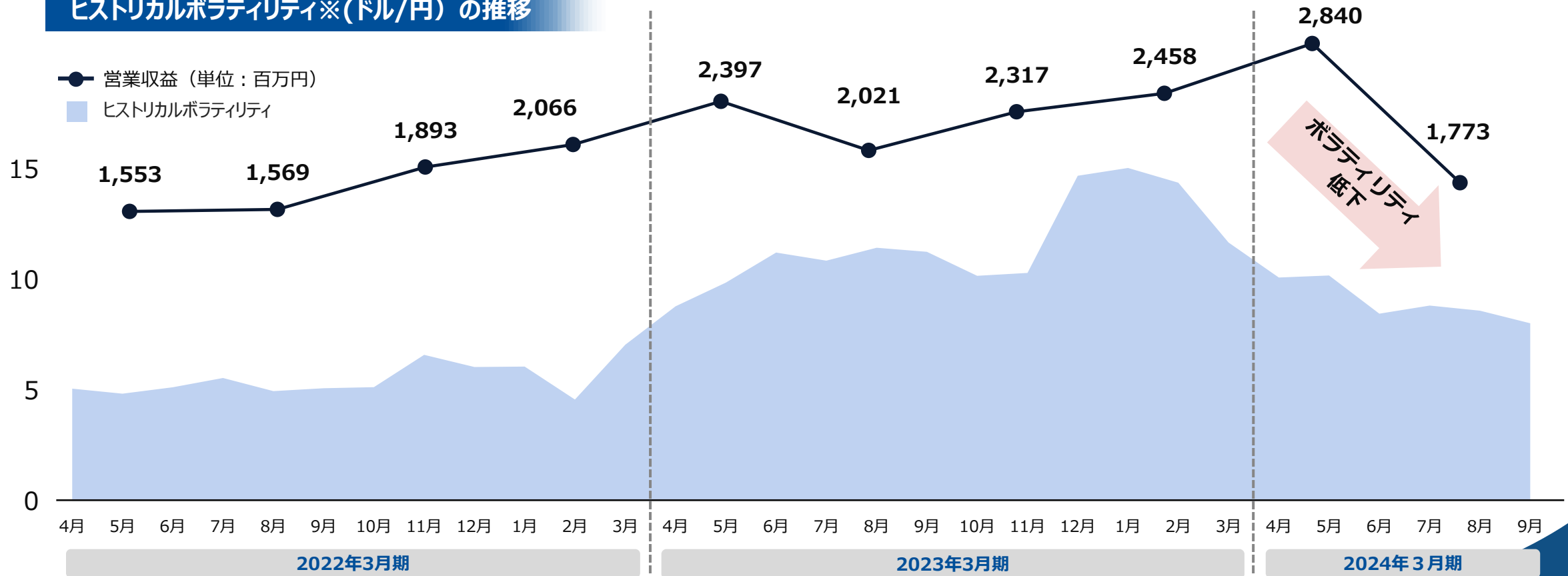
金融を、もっと面白く。



2023年3月期は歴史的な大相場を背景にボラティリティが大きく動いた一年であったが、2024年3月期上期は徐々に低下

- ✓ 前期末時点でボラティリティはすでに低下しつつあったが、当期1Q時点では活況であった前期の流れを引き継ぎ、営業収益を獲得
- ✓ 当期2Qではボラティリティ低下の影響を大きく受け、営業収益が減少

ヒストリカルボラティリティ※(ドル/円) の推移



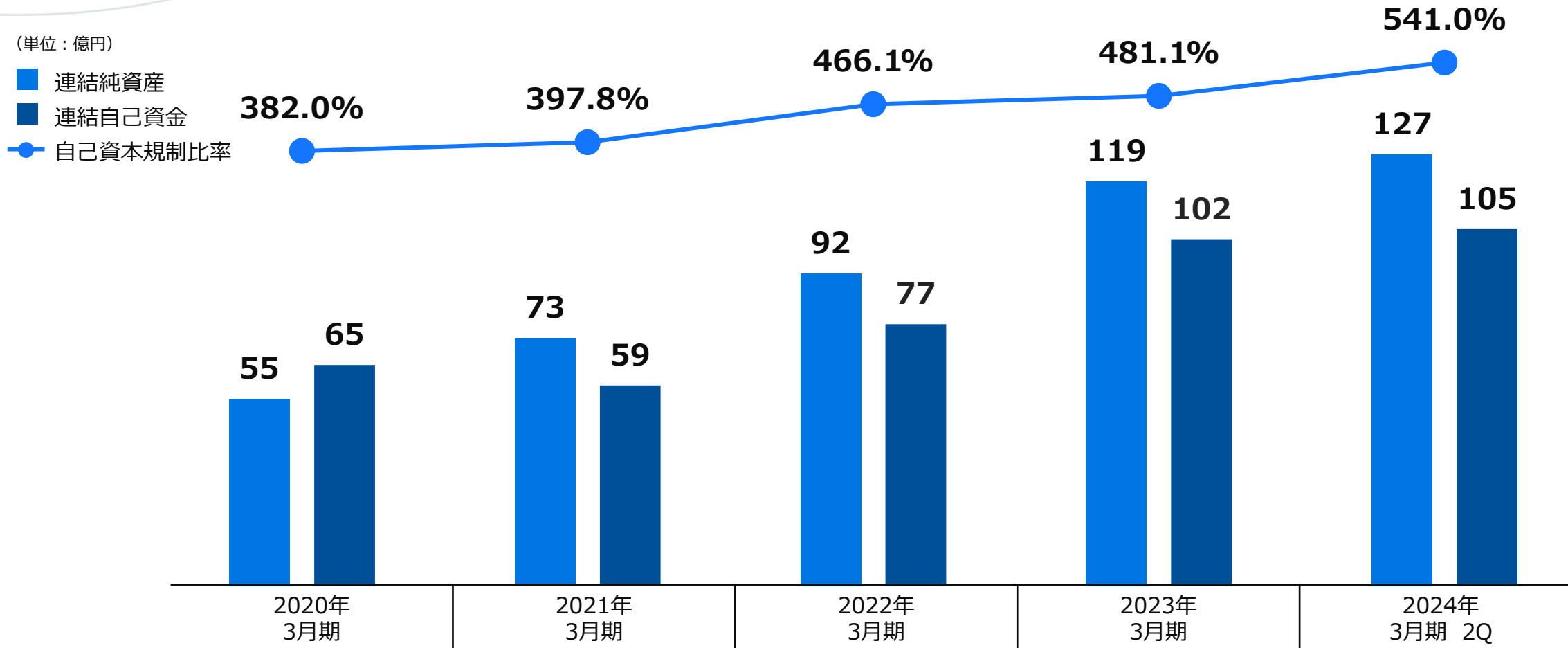
※ヒストリカルボラティリティとは、テクニカル分析手法の一つで、過去のデータに基づいて統計的に算出した価格の変動率のこと。過去の価格変動が小さければ、ヒストリカルボラティリティは小さくなり、過去の価格変動が大きければ、ヒストリカルボラティリティも大きくなる。上図では四半期会計期間である過去60日の値動きデータに基づき計算。

連結純資産および連結自己資金並びに財務安全性の推移

金融を、もっと面白く。



引き続き事業規模の成長とともに純資産、自己資金も順調に増加 安全性維持



(注) 連結自己資金 = 連結現金預金 + 短期差入証拠金 - 有利子負債
(資金のうち顧客分別金を除いた当社グループに帰属する短期の自己資金)

投資魅力の高い会社として指数構成銘柄に選定

金融を、もっと面白く。



「JPX日経中小型株指数」構成銘柄へ選定



JPX-NIKKEI Mid Small

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、「**投資者にとって投資魅力の高い会社**」が採用される「JPX日経中小型株指数」に選定されました（2023年8月31日に組み入れられました）

□ JPX日経中小型株指数とは

- ✓ JPX総研と日本経済新聞社が共同で算出した、JPX日経400と同じコンセプトを中小型株に適用し、**持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業**で構成する株価指数
- ✓ 東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場の対象銘柄の中から、定量的な指標のスコアリングに加え、定性的な要素を加えた基準で行われ、**上位200銘柄が選定**
- ✓ 2023年選定銘柄はプライム市場177社、スタンダード市場12社、グロース市場11社と**圧倒的にプライム市場上場企業が多い中**での選定となった

□「Forbes Asia's 200 Best Under A Billion」に選定

- ✓ アジア太平洋地域の年間売上高1,000万ドル以上10億ドル未満の上場企業2万社以上を対象に、過去12カ月間かつ3年間にわたる売上・利益成長、及び5年間のROE の高さ等の総合的な実績に基づいて **優良な業績を収めている企業 200社を選出したもの**
- ✓ 今回選出された200社のうち日本企業は26社で **プライム市場16社、スタンダード市場4社、グロース市場6社** 半数以上がプライム市場上場企業の中での選定となった
- ✓ 選定に際しては、定量的な業績基準だけでなく、企業における深刻なガバナンス問題や疑わしい会計処理、環境問題、経営問題、法的トラブルを抱える企業を除外するなどの定性的な選別も行われている

金融を、もっと面白く。



2024年3月期決算 業績予想

2024年3月期 業績予想

金融を、もっと面白く。



2024年3月期の通期業績予想は、2Q時点で計画に対する進捗率がほぼ予定通りのため、**据え置き**

- ✓ 営業収益の土台であり、かつ営業努力による積み上げが可能な預り資産の目標達成については順調に推移
- ✓ 預り資産については現時点で1,000億円台の到達は目前 1,000億円到達後も引き続き増加に注力

(単位：百万円)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (期初予想)	増減
営業収益	9,194	10,100	+905
営業利益	3,742	4,000	+257
経常利益	3,730	4,000	+269
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,217	3,000	▲217
預り資産	803億円	1,000億円	+197億円

金融を、もっと面白く。

Traders

業績予想達成に向けた2024年3月期の施策進捗

2024年3月期の取り組み①

金融を、もっと面白く。



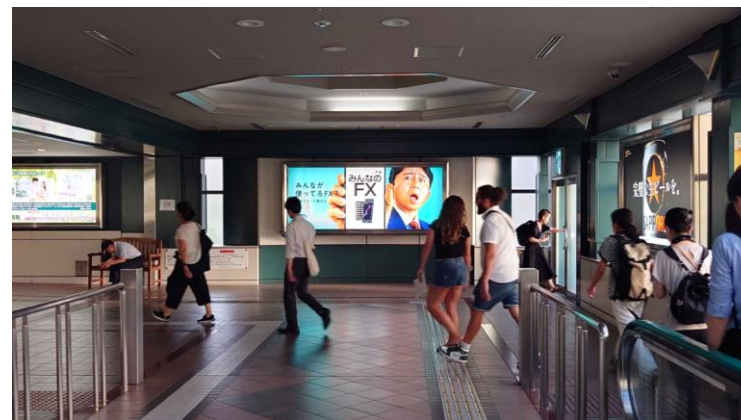
» 有吉弘行さんを新CMに起用以降、新規口座開設数は約20,000口座増加

世界的なスポーツ大会等でも放映され、認知度向上



渋谷駅前

1日約200万人以上が乗り降りする渋谷駅の八公前交差点の目の前の大型ビジョンで放映待ち合わせスポットからもはっきりと見ることができ、訴求効果大



恵比寿スカイウォーク

恵比寿駅から当社オフィスのあるガーデンプレイスへ繋がる恵比寿スカイウォーク内に看板を掲示

2024年3月期の取り組み②

- FX初心者に向けたサービスの充実化を推進
- ✓ 新通貨ハンガリーフォリント/円・新規商品LIGHTペアを導入
円キャリー取引が活況な市場環境を捉え、顧客ニーズとマッチ



既存領域

LIGHT FX

**業界最高水準の
スワップ!**

みんながFX年間ランキングスワップ部門
3年連続第1位

※1 業界最高水準の通貨ペア、出たらしませ!

USD/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	2500円
米ドル/円 LIGHT	2500円
GBP/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	3000円
ポンド/円 LIGHT	3000円
MXN/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	300円
メキシコペソ/円 LIGHT	300円
ZAR/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	200円
南アランド/円 LIGHT	200円
TRY/JPY LIGHT 買スワップ10万通貨あたり	500円
トルコリラ/円 LIGHT	500円

※2 2022年10月1日～6日分 自社調べ
※3 2022年10月1日～6日分 自社調べ
※4 2022年10月1日～6日分 自社調べ
※5 2022年10月1日～6日分 自社調べ



新サービス

2023年3月20日開始

ハンガリーフォリント/円リリース記念

150万円

山分けキャンペーン!!

キャンペーン期間 2023.03.20(月)～2023.05.12(木)

2023年6月26日開始

2023年6月26日開始

スワップ&スプレッド強化

LIGHTペア

米ドル/円をはじめ
メキシコペソ/円 南アランド/円 などの高金利通貨まで
全10通貨ペアが登場!

初めての取引からLIGHTペア!

- 大きな資金を必要とせず、また中長期での投資志向の方々に向けた商品を導入
若年層やFX初心者の方々へのニーズにもマッチ

2024年3月期の取り組み③

金融を、もっと面白く。



▶▶ 2023年6月26日より取引開始したLIGHTペアの効果により預り資産増加に貢献
通常銘柄よりもスワップポイント・スプレッドが強化され、初心者層の新規顧客獲得が加速

- ✓ 通常の通貨ペアよりもさらにスプレッドを縮小させた新しい通貨ペアの取扱いを開始
高スワップ戦略の主軸サービスとなり中長期投資を目的とした新規顧客の獲得を可能に
- ✓ 大きな資金を必要とせず、初心者の方が始めやすい商品設計
- ✓ 金利差を背景とした円キャリー取引が活況な現状とあいまって、市場環境とマッチし、**預り資産の積み上げに寄与**

2023/06/26取引開始
スワップ&スプレッド強化
LIGHTペア
米ドル/円をはじめ
メキシコペソ/円 南アランド/円 などの高金利通貨 まで
全10通貨ペアで登場！
初めての取引ならLIGHTペア！

2024年3月期の取り組み④

金融を、もっと面白く。



▶ 「価格.com」および比較検証サイト「mybest」にて、大手各社をおさえFXサービスランキング1位 およびベスト口座の評価を獲得

- ✓ 「価格.com」は月間3,900万人が利用する比較サイト
スプレッドやスワップ等の項目に加え、
実際のユーザの口コミをご評価いただき、
FX口座の人気総合ランキングにて、**FX口座16サービス中1位**
- ✓ 「mybest」は月間3,400万人が利用する比較サイト
スプレッド、スワップポイント、取扱い通貨ペア数
以上3つの観点から、
FX口座25サービスを実際に比較検証し、
国内のFXサービスにおいて**ベストな口座であるとの評価を獲得**



価格.com



★mybest

2024年3月期の取り組み⑤

金融を、もっと面白く。



▶▶ 2023年4月～7月 キャッシュバックキャンペーン開催 新規・既存顧客ともに好評をいただき、預り資産の増加に寄与

- ✓ キャンペーン期間中におけるお客様の入出金差額、および「みんなのFX」の新規約定数量に応じて、入出金差額の最大1%をキャッシュバックするキャンペーン
- ✓ 新規顧客への訴求効果が高く、新規口座数および預り資産の増加に貢献



ご入金 **1%**
最大
キャッシュバック

2024年3月期の取り組み⑥

金融を、もっと面白く。



▶ ラジオNIKKEIにて新番組「みんなのFXラジオ」を10月3日（火）16時15分より放送開始
全国の個人投資家に向け、当社名とブランドの浸透および、認知度向上を目指す

- ✓ トレーダーズ証券取締役 現役外国為替ディーラーの井口が出演
「個人投資家の悩みを解決すること」がコンセプト
- ✓ 全国の投資家およびビジネスパーソン数万人に毎週リーチが可能
- ✓ マスメディアへの露出が多く、知名度の高いゲストをお呼びすることで、マス層への訴求を強化



番組 HP : <https://www.radionikkei.jp/minna/>

2024年3月期の取り組み⑦

金融を、もっと面白く。



2023年4月、FXに続く新たな柱の事業を模索すべくCVCファンドを組成

2023年7月にCVCファンドから第一号案件への出資を実行

□ 出資先：ドクターズ株式会社

- ✓ デジタルヘルス開発を総合支援するサービス「Doctors Cloud®」、
医師のための医療DX・デジタルヘルス総合支援サービス「Doctors Next®」、
医療連携型オンライン医療支援サービス「Doctors Station®」を提供
- ✓ 社会課題の解決に取り組むドクターズへの出資を通じて、
「医療」×「テクノロジー」×「金融」という仕組みの構築に向けて共創

金融を、もっと面白く。



資本政策

自己株式の取得

- ✓ 2023年8月の実施に加え、**11月14日より当期2回目の自社株買いを実施**
- ✓ 追加で3億円の取得を実施 年間での取得総額は約7億円を予定し、**前期の2倍以上の取得金額に**
- ✓ 引き続き株主価値向上に資する最適資本構成を目指し、機動的な自社株買いを実施

■ 自己株式取得予定額
■ 自己株式取得額

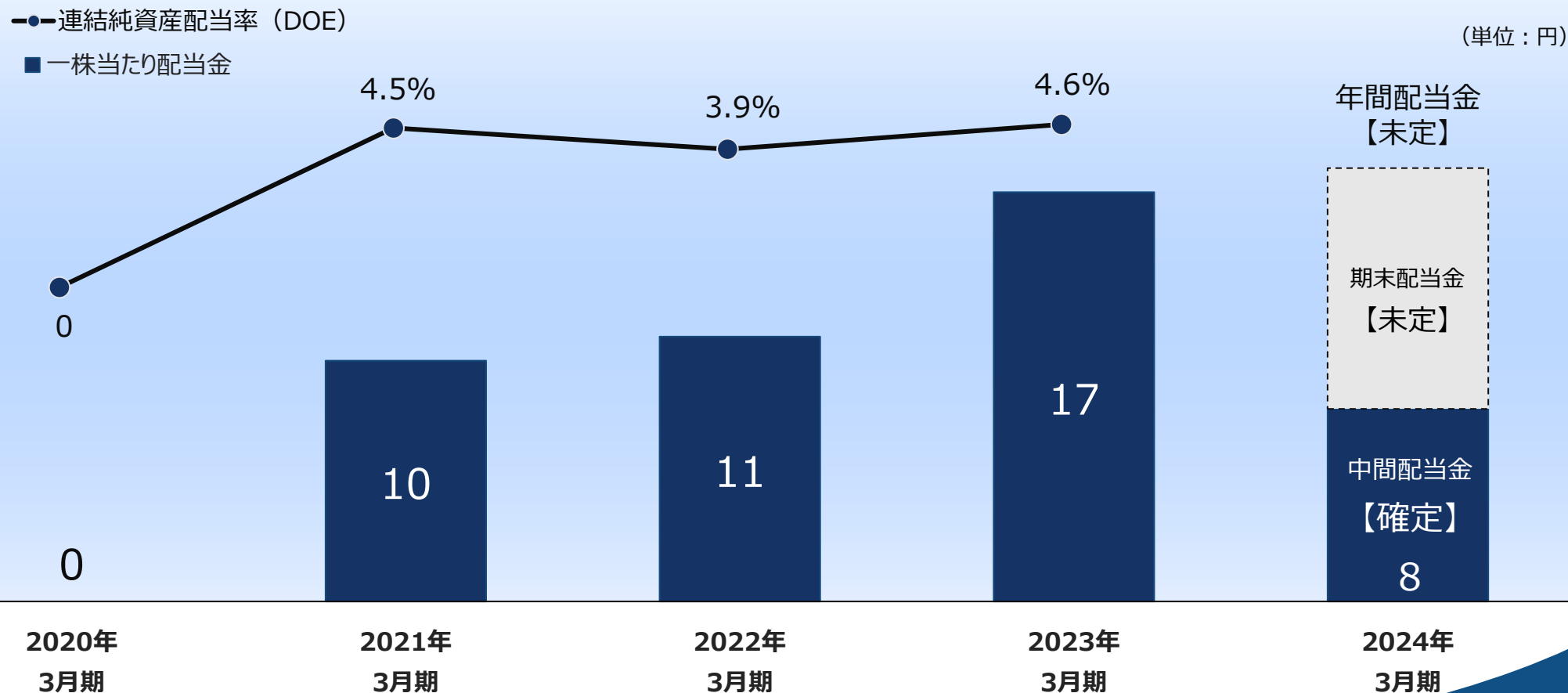


配当実績および配当予定について

金融を、もっと面白く。

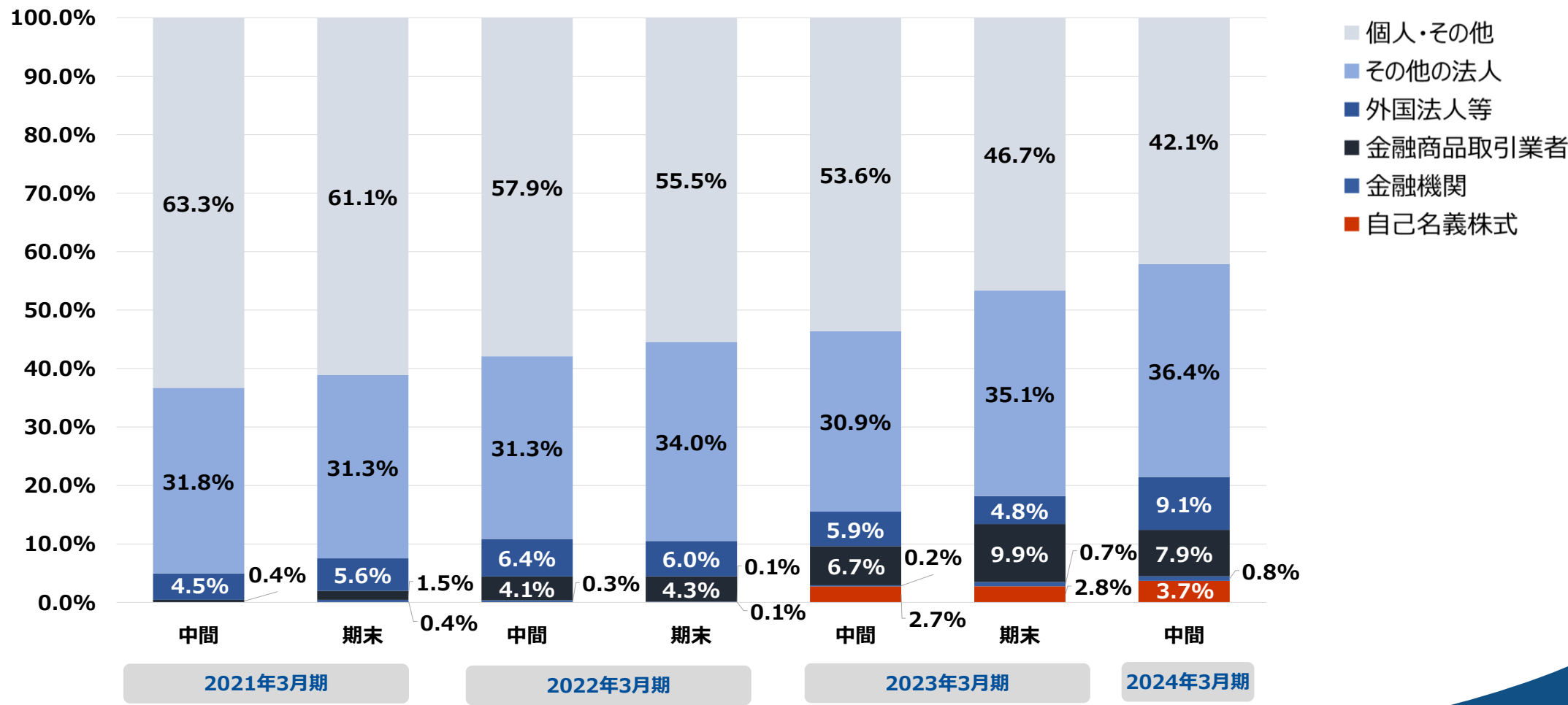


2024年3月期より開始の中間配当金は一株当たり8円に確定 金額の設定基準は前期の年間配当金額の約50%
年間配当金額についてはDOE4%を基準としつつ、経営環境等を踏まえ決定する予定
期末配当金は引き続き現時点で未定だが、通期業績の見通しが固まるタイミングで公表を予定



株式情報（保有状況分布表）

- ✓ 3期前と比較し、個人投資家のみならず、投資目線の厳しい外国法人等の取得比率が増加
- ✓ 中長期目線での保有意向を持った投資家の方々からも投資される銘柄に変化しつつある



プライム市場上場要件への適合状況

金融を、もっと面白く。



好調な業績を背景に収益基盤、財政状態については十分に要件をクリア
引き続き、適合要件の達成に向け、株価対策を最重要課題の一つとして注力
プライム市場上場企業にふさわしいガバナンス等の体制強化を行っていく

	プライム上場要件	当社の状況	適合状況
流通株式時価総額	100億円	92億円 ※	×
時価総額	250億円	200億円 ※	×
収益基盤 (直近2年間の利益合計)	25億円	60億円	○
財政状態 (純資産額)	50億円	127億円	○
株主数	800人	7,400人	○
流通株式数	20,000株	13,640,777株	○
流通株式比率	35.0%	46.2%	○

※2024年3月期第2四半期末の株価 1株678円にて計算

金融を、もっと面白く。



Appendix

恵比寿ガーデンプレイスへの移転による様々な取組



ディーリングルームではメディア向けの取材を対応

カフェエリアでは金融セミナーの開催を行い、新オフィスの設備を有効的に活用



カフェエリア（金融を、もっと面白くするエリア）

7/20（木）に「きんゆう女子。」と女性の金融リテラシー向上のための座談会を当社オフィス「金融を、もっと面白くするエリア」にて開催。バリアフリー対応のため、ベビーカーで参加された方もおり、様々な方の参加が可能に。

ディーリングルーム

TBSニュース番組におきまして当社ディーリングルームの取材をいただきました。為替が大きく動いたタイミングでの取材でしたが今後も報道番組等において露出増加を目指してまいります。

Sustainability Policy

トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。

環境的な課題の解決のために

企業活動を通じて負荷をかける地球環境に対する、企業としての取り組み（環境負荷の低減）の実践と継続

ペーパーレス化の推進・森林認証用紙の使用【森林資源の保護】



当社グループでは、会議時のペーパーレス化（タブレット端末・ノートPC・共有モニターを用いた電子会議、インターネット会議の促進）、契約書の電子化によるペーパーレス化、業務作業の自動化ロボット対応化（RPAの導入による業務効率化）や、森林認証制度PEFC認証のコピー用紙、FSC®認証の名刺を使用することにより、森林資源の保護を通じた温室効果ガス削減（CO2削減）に貢献しています。

消費電力（使用量）の削減・抑制【省エネルギーの推進】



当社グループの主軸事業である金融商品取引事業は、顧客がインターネットを通じて取引を行うサービス形態であり、インターネット関連設備やシステム開発・保守運用のためのパソコン機器等、安定的なサービス提供やシステム稼働のために、電力を多く消費する事業構造となっています。消費電力の削減を通じた省エネルギー化を推進するため、オフィス内においても、積極的に電力消費（エネルギー使用量）の削減、省エネPC機器への順次リプレイスに取り組んでいます。

再生可能エネルギー由来電力の使用



これまで当社本社が入居していた住友東新橋ビル3号館における使用電力につきまして、2022年9月に再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。また今春本社を移転しました恵比寿ガーデンプレイスでは入居する全てのテナントが再生可能エネルギー由来の電力の提供を受けており、当社も再生可能エネルギー由来電力を使用しております。

グループ会社のサステナビリティの取り組みの詳細についてはこちら

トレーダーズ証券



FleGrowth



社会的な課題の解決のために

金融リテラシー向上への取り組み①



若年層・学生・女性等幅広い層の金融リテラシーの向上を目指した取り組みとして、都内小学校にて特別授業のゲストティーチャーとして 트레이ダーズ証券の為替ディーラーが講師として参加いたしました。小学生を対象とした金融リテラシー向上の取り組みであり、円高・円安といった外国為替動向の意味、金利と投資行動の関係など、難しい金融の内容について少しでも理解してもらえるようにクイズ等を織り交ぜわかりやすく説明を行いました。学生や若年層に向けた金融リテラシー向上の取り組みも注力してまいります。



金融リテラシー向上への取り組み②



「金融教育の推進」の一環として、高校生を対象に本社オフィスで「ジョブシャドウイング」プログラムを実施し、実際の業務の様子を側で体験、観察していただきました。今後も学生の職場体験などを通じ、キャリア教育や金融経済教育の取り組みを推し進めてまいります。

こどものみらい古本募金



内閣府等が主導する「子供の未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」に日本証券業協会が主導して証券業界全体で取り組んでいる中、子どもの貧困をなくすとの趣旨に賛同し本活動へ参加しております。寄付金は子ども食堂や学習支援を行うNPOへの支援に活用されます。

コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

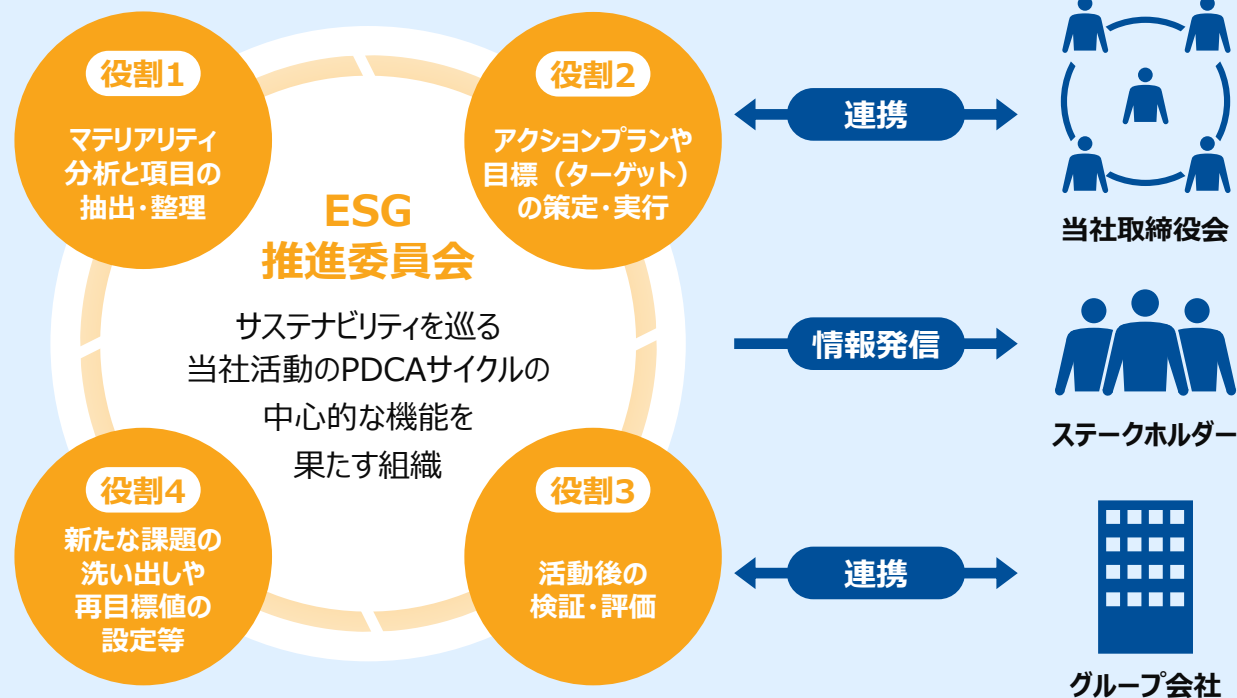
当社は、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、実効性あるコーポレート・ガバナンスのあり方を不断に追求し、構築・強化を進めています。当社コーポレート・ガバナンスの詳細、コーポレート・ガバナンスコードへの取り組み内容についてはWebサイトでご覧いただけます。



当社グループの マテリアリティ推進体制

当社グループでは、ESG推進委員会に各事業会社の代表取締役も含めて、グループ全体でサステナビリティ経営を推進（関連する事業や取り組みを実践）しています。

今後も事業活動を通じた社会的課題の解決や新たな価値創造を目標に、社会情勢や事業環境等を見極めながら、マテリアリティに沿った取り組み（評価を含む）をグループ全社で（部門横断的に）進めてまいります。



コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

当社における東証「コーポレート・ガバナンス・コード」全原則のComply状況

① 2021年12月末時点（JASDAQ市場）

② 2022年6月時点（スタンダード市場）

③ 2023年6月末現在※（スタンダード市場）

※直近のCG報告書提出時点



市場区分再編による移行前後で、Comply項目が大幅に増加！

（2022年4月：スタンダード市場に移行完了）

スタンダード市場移行後も、継続して、Comply項目への改善強化！

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

取締役会の構成に必要なスキルマトリックスの選定と公表

ポイント2！

取締役会の機能発揮のため、実効性評価の実施と結果の開示

ポイント3！

役員の報酬等の決定方針の透明化と株主目線に即した報酬体系の導入

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

自社の株主総会における機関投資家に対する議決権行使を可能とする環境作りを積極的に推進し、海外投資家の比率等も高めることが、中長期的な企業価値向上に資すると考え、2023年6月開催の定時株主総会より、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームの利用を開始。

ポイント2！

招集通知の英訳版を当社ホームページ、東京証券取引所のウェブサイト及び機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームに開示。2023年3月期第2四半期より決算短信の英語での開示・提供を実施

ポイント3！

当社グループの後継者要件（サクセッションプランとしての必要条件）を整備し、取締役等に対するトレーニングの実施方針に準じた内容の育成プロセスを当社サクセッションプランとして策定

今後も、引き続きComply項目を増やすべく、グループ内部管理体制の強化とコーポレート・ガバナンスの充実化に取り組んでまいります！ 41

金融を、もっと面白く。



MISSION

ミッション

新たな価値を創造し続ける

Create the New Values

VISION

ビジョン

お客様から最も信頼される“FinTech”グループとなり、
だれもが未来に投資できる社会を実現させる

金融を、もっと面白く。

traders

VALUE

バリュー

トレーダーズ
ホールディングス

関わるすべての“人”を大切にしながら、
コンプライアンスとダイバーシティ（多様性）を尊重した経営で、
変革にチャレンジし続ける

トレーダーズ証券

金融リテラシーの向上に貢献しながら、
お客様と社会が求める新たなサービスの提供にチャレンジし続ける

FleGrowth

競争力のあるサービスを提供しながら、スピード感をもって
安定的かつ革新的なシステム開発にチャレンジし続ける

本資料に関する注意事項

当資料に掲載されている事業戦略や目標数値、見通し等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断した内容であり、実際の業績等の結果は、今後の経済情勢や事業環境、為替市場の動向等、様々な不確定要素その他リスク等に起因して、記述とは大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアや市場規模等の数値について一部当社の推計値が含まれており、調査手法等によって異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に関するお問合せ

トレーダーズホールディングス株式会社
ir@tradershd.co.jp (IR担当)



金融を、もっと面白く。